

環研センターNEWS

第16号



PRAT1 里山の自然観察会 11月12日(土)

センターの近くの山で、リースの材料を集めました。木にからみついているツルをはずして、ベースを作り、高い木の赤い実を集めました。



中には、周りの葉や花でリースを完成した人もいました。



秋の環境教室



「秋の環境教室」として、11月に自然観察会、12月にリース作りを開催しました。参加してくれた方々は、秋から冬にかけての自然と楽しく触れあうことができたようです。



フジやアケビのつるをベースに、スギやヒバの緑の葉やツルウメモドキやナンテンの赤い実、マツボックリやドングリなどの木の实をつけていきました。



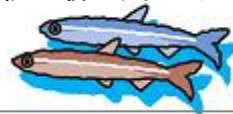
緑をふんだんに使ったもの、ツルをいかしたものの、カラフルな木の实やリボンをつけたもの、いろんなリースができました。

PRAT2 リースづくり 12月3日(土)

もがみがわ水環境発表会

平成17年11月3日(祝)開催
場所：山形県生涯学習センター 遊学館

県内各地で水環境向上の活動をしている個人や団体、研究機関が活動や研究の成果を発表し、地域の水環境の向上に資することを目的に、「美しい山形・最上川フォーラム」との共催で「もがみがわ水環境発表会」を開催しました。



講演

新河岸川水系における「身近な川の一斉調査」

講師 新河岸川水系水環境連絡会 丹野 忠弘 氏

埼玉県から東京都北区で隅田川に流れ込む新河岸川の流域で、市民団体がネットワークを組む形で実施されている一斉調査について、豊富な写真とともに紹介していただきました。

また、併せて本フォーラムでも参加している「身近な水環境の全国一斉調査」の取りまとめ状況等の最新情報についても提供していただくことができました。

《写真はポスターセッションの様子です》



発表会



山形県緑を育てる女性の会



高畠町住民生活課環境対策室



日本大学山形高等学校生物部

セッション1 座長：菅原 幸司（美しい山形・最上川フォーラム）	
水環境モニタリング調査報告	六沢 善幸：美しい山形・最上川フォーラム
市民に分かり易い水質指標の検討	大岩 敏男：山形県環境科学研究センター
最上川の水調べ	鈴木 佐知：酒田市立第三中学校
最上川上流部の水質向上に向けて	伊藤 俊一：山形県置賜総合支庁
日本海沿岸の水質保全について	小関 祐治：山形県庄内総合支庁

ポスターセッション	
自然生かし学習、交流 豊かな自然環境を次世代に	結城 チヨノ：山形県緑を育てる女性の会
部活動で取り組んだ水質調査	岡田 喜志子：上山市立北中学校
最上川環境共生型水質浄化モデルについて	小関 祐治：山形県庄内総合支庁
寒河江川のバックテスト 水生生物による水質調査の継続研究	日本大学山形高等学校生物部
小見川イバラトミヨ特殊型の保全技術確立に関する研究	渡邊 潔：山形県環境科学研究センター
環境保全看板の作成について	山内 善克：高畠町住民生活課環境対策室

セッション2 座長：村岡 喜博（山形県環境科学研究センター）	
山形県メダカ生息地調査報告	辻 徹：山形城北高等学校
イバラトミヨ生息域における水環境調査	渡邊 英治：山形県環境科学研究センター
紫外可視分光光度計を用いた河川水の簡易的評価法	佐藤 智広：株式会社東北サイエンス 村山事業所
都市河川の上流・下流24時間同時計測データの解析	高畑 保之：山形大学工学部
最上川における経年的な水質変化特性	前川 勝朗：山形大学農学部

山形県環境科学研究センター 村山市榎岡笛田三丁目2-1 : 0237-52-3124

e-mail: kankyose@pref.yamagata.jp 編集：環境企画部 平成17年12月28日発行